



沿革概要

明治30年（1897年）10月 1日	山口県「大島郡立大島海員学校」創設
同年（1897年）10月 1日	初代校長に海軍予備大尉馬来常德が任命される
明治34年（1901年）5月11日	「山口県立大島商船学校」となる
同年（1901年）5月11日	初代校長に菅野紋吉が任命される
昭和21年（1946年）4月 8日	鹿児島商船学校の廃止、同校の生徒全員を本校に編入
昭和26年（1951年）4月 1日	国立学校設置法の一部改正により「国立大島商船高等学校」となる
同年（1951年）4月 1日	初代校長に福岡外雄が任命される
昭和42年（1967年）6月 1日	国立学校設置法の一部改正により国立高等専門学校に昇格する 「国立大島商船高等専門学校」（航海学科40名・機関学科40名の2学科2学級体制）
同年（1967年）6月16日	初代校長に東京商船大学名誉教授鮫島直人が任命される
昭和44年（1969年）4月 1日	機関学科1学級増設（航海学科40名・機関学科80名の2学科3学級体制）
昭和47年（1972年）9月30日	第1回卒業証書授与式举行
昭和60年（1985年）4月 1日	機関学科1学級を電子機械工学科に改組 （航海学科・機関学科・電子機械工学科の3学科体制）
昭和63年（1988年）4月 1日	航海学科・機関学科を商船学科・情報工学科に改組（現在の学科体制になる）
平成 2年（1990年）2月 3日	新校歌校内発表会举行
平成 5年（1993年）12月 6日	練習船大島丸（3代目）竣工
平成 9年（1997年）10月31日	創基100周年・高専創立30周年記念式典举行
平成16年（2004年）3月22日	実習船すばる竣工
平成16年（2004年）4月 1日	独立行政法人国立高等専門学校機構法により、独立行政法人へ移行
平成17年（2005年）4月 1日	専攻科設置（海洋交通システム学専攻4名、電子・情報システム工学専攻8名）
平成20年（2008年）2月 8日	「ものづくり教育研究棟」（専攻科棟）竣工
平成29年（2017年）11月18日	創基120周年・高専創立50周年記念式典举行
令和 5年（2023年）3月13日	練習船大島丸（4代目）竣工

組 織

役職員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
校 長	藤 本 隆 士	実習船すばる船長	砂 田 智 裕
副校長（総務主事）	石 原 良 晃	情報教育センター長	高 橋 芳 明
副校長（教務主事）	藤 井 雅 之	地域協力センター長	中 村 翼
副校長（学生主事）	久 保 田 崇	教学IR室長	藤 井 雅 之
副校長（寮務主事）	杉 野 直 規	学生相談室長	石 原 良 晃
校長補佐（専攻科担当）	増 山 新 二	技術支援センター長	石 原 良 晃
校長補佐（研究担当）	千 葉 元	キャリア支援室長	木 村 安 宏
図書館長	野 本 敏 生	国際交流室長	朴 鍾 徳
商船学科長	清 水 聖 治	先端技術教育研究センター長	浅 川 貴 史
電子機械工学科長	笹 岡 秀 紀		
情報工学科長	北 風 裕 教	事務部長	小 澤 強
一般科目長	幸 田 三 広	総務課長	伊 世 康 宏
練習船大島丸船長	中 村 泰 裕	学生課長	森 本 和 宏